

第 3 章 小学生アンケート結果概要

第 1 節 小学生を取り巻く環境

現在の松阪市の小学生を取り巻く環境を把握するために、好きな遊び場や身近な生き物、周囲の様子について尋ねました。

1. 小学生の遊び場

「どこで遊ぶのが一番好きですか」という問いに対して「家の中」が最も多く、次いで「公園や学校の運動場」「家の周り」の順となりました(図 1 参照)。

これを男女別にみると、男子では、「公園や学校の運動場」が最も多く 30.9%でした。女子では、「家の中」が最も多く 37.8%となりました(図 2 参照)。

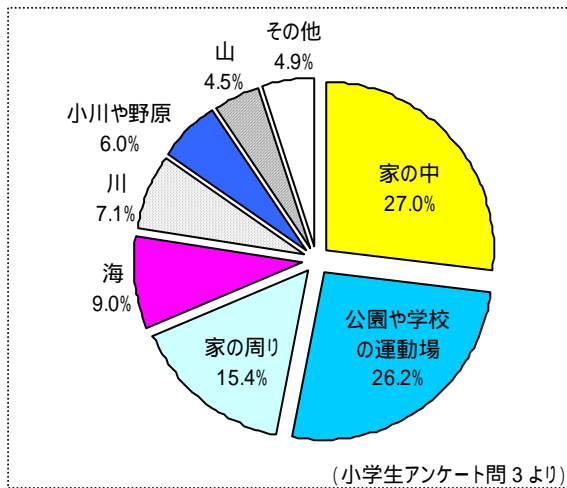


図 1 どこで遊ぶのが一番好きですか

また、遊ぶ場所とその頻度の関係を見ると、「家の中」で遊ぶのが好きだと答えた小学生の 70%以上がその頻度を「ほとんど毎日」と答えました。「公園や学校の運動場」「家の周り」においても比較的遊ぶ頻度が高い結果となりました。

一方で、「川」「小川や野原」など、自然の中で遊ぶのが好きと答えた小学生がそこで遊ぶ頻度は、「月に 1~2 回くらい」と低くなっています(図 3 参照)。

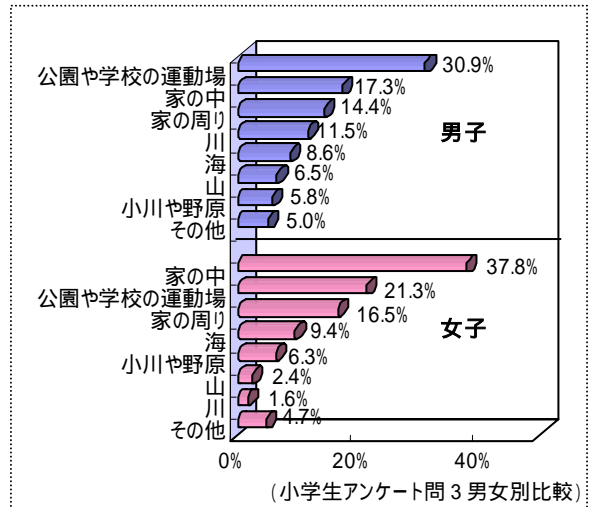


図 2 遊ぶ場所についての男女別比較

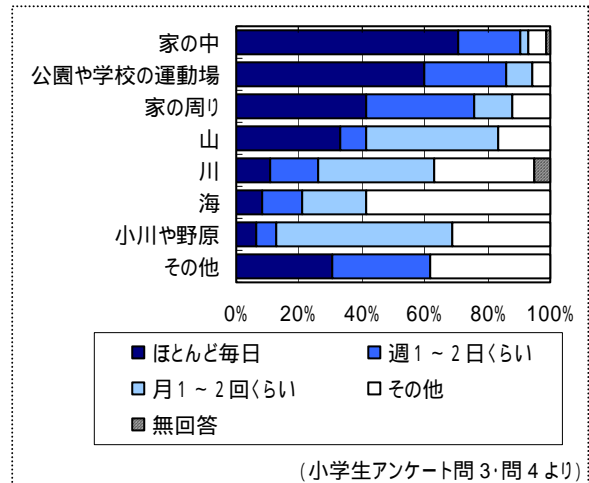


図 3 遊ぶ場所とその頻度

2. 身近な生き物

「どのような動物や植物を知っていますか」という問いに対して、「からす」「とんぼ」「すずめ」「バッタ」では、70~80%が「遊んでいて見かける」と答えました。「ほたる」「たぬき」では、「遊んでいて見かける」が 10%前後と低い結果でした(図 4 参照)。

「ほたる」に関しては、地域別に見ると、山間部では「遊んでいて見かける」が 27.3%となり、他地域の約 3 倍となっています(図 4 参照)。

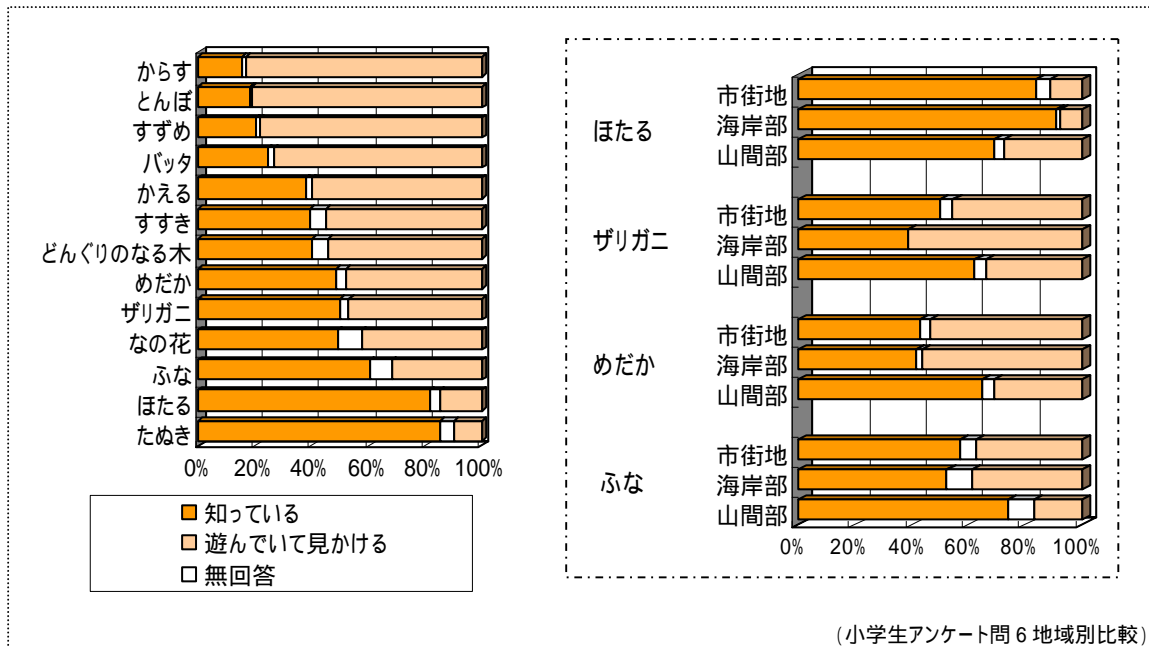


図4 「どのような動物や植物を知っていますか」に対する回答とその地域別比較

「ザリガニ」「めだか」「ふな」に関しては、「遊んでいて見かける」を選んだ小学生の割合が、地域によって大きく異なりました。このように動物や植物がせい息すると思われる地域の差が、遊んでいて見かける生き物の差に表れたことから、小学生は周辺の自然環境をよく観察しているということがわかりました。

3. 周辺環境の評価

自然環境

「空気はきれいと感じますか」に対して、小学生全体では 28.1%となり、地域別では、山間部、市街地、海岸部でそれぞれ51.9%、16.4%、21.3%となりました。それとともに、市街地、海岸部では、「わからない」と答えた小学生が50%を占めました(図5参照)。

「海または大きな川はきれいですか」では、小学生全体で「いいえ」が 66.3%となり、地域別にみると、海岸部では 87.5%が「いいえ」と答え、他地域と比べ低い評価をしていることがわかりました(図5参照)。

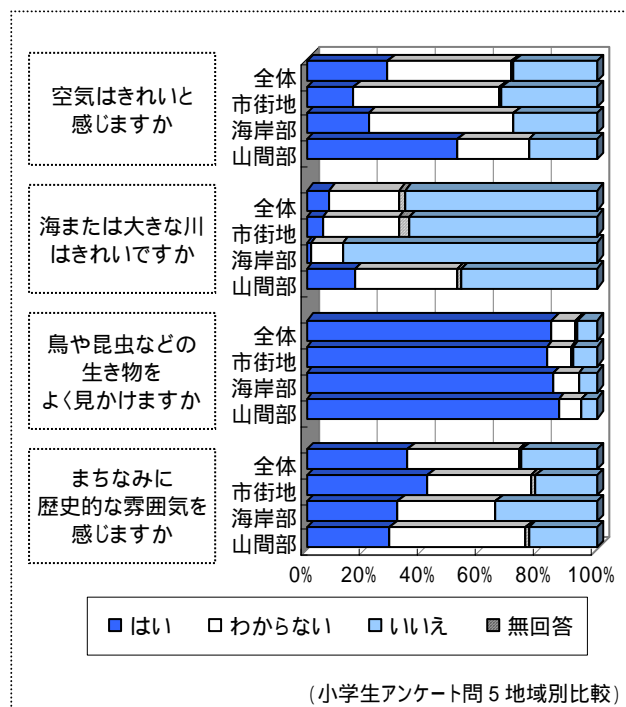


図5 周りの様子についての地域別比較

海岸部の小学生は、海や海に流れ込む下流域の川の様子を見て、普段から汚れていると感じている結果といえます。このことから、小学生が周辺の自然環境をよく見ており、それについて、自分なりの評価を持っていることがわかります。

「鳥や昆虫などの生き物をよく見かけますか」では、小学生全体で84.6%が「はい」と答え、いずれの地域においても高い結果となりました(図5参照)。

都市環境

市街地の小学生に対してのみ行った問いで、「まちの中に公園や街路樹などの緑が多いですか」では、「はい」が57.3%であり、市民アンケートよりやや高い結果となりました。また、「まちは歩道があって歩きやすいですか」でも、市民より評価が高く、「はい」が43.6%でした(図6参照)。

歴史・文化環境

「まちなみに歴史的な雰囲気を感じますか」では、小学生全体で「はい」が34.8%となり、地域別では市街地が他地域に比べて高い結果となりました。しかし、全体として「わからない」の回答も多く、判断することが難しい小学生も多くいることがうかがえます(図5参照)。

まとめ

現在の当市の小学生は、家の中や周り、学校や公園など、大人の目の届く範囲で遊ぶことが多いということがわかりました。また、周辺の自然環境に関しては興味を持って観察しており、水環境については、海や川の汚れ具合を近くで見ていると思われる海岸部の小学生を中心に、厳しい評価をしていま

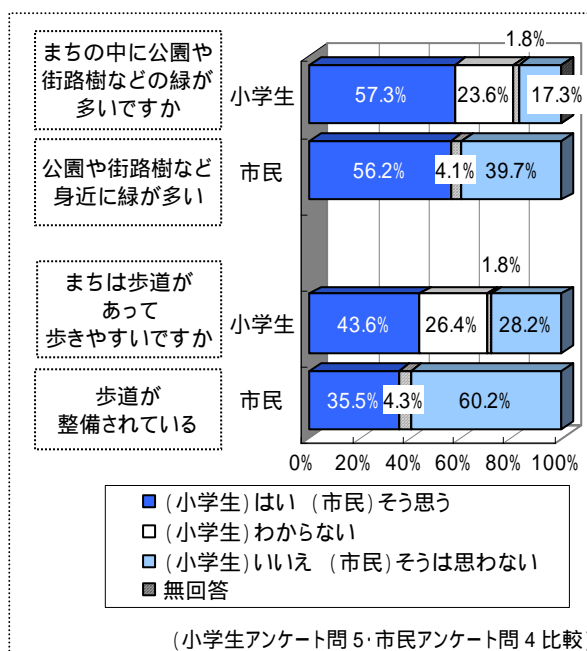


図6 都市環境についての市民との比較

す。都市環境や歴史・文化環境については、普段そのような環境に触れている市街地の小学生は、他地域の小学生よりも意識を持って回答しているように感じられます。

小学生にとっては、遊びの中で感じることのできる環境に興味や関心があるように思われます。ただし、全体として「わからない」という意見も多く、答えるのが難しいようです。

キーワード

遊び場

身近な生き物

コラム1 身近な生き物 ~市民との比較~

身近な生き物について、小学生の問いでは、「鳥や昆虫などの生き物をよく見かけますか」と尋ね、市民では、「身近に鳥や昆虫など生き物が多種せい息している」かどうかを尋ねました。小学生では「はい」が84.6%であったのに対し、市民では「そう思う」が49.6%となりました。このことから、小学生は、大人に比べると、身近な生き物を注意深く見ていることがわかり、大人との認識の差が見られました。

